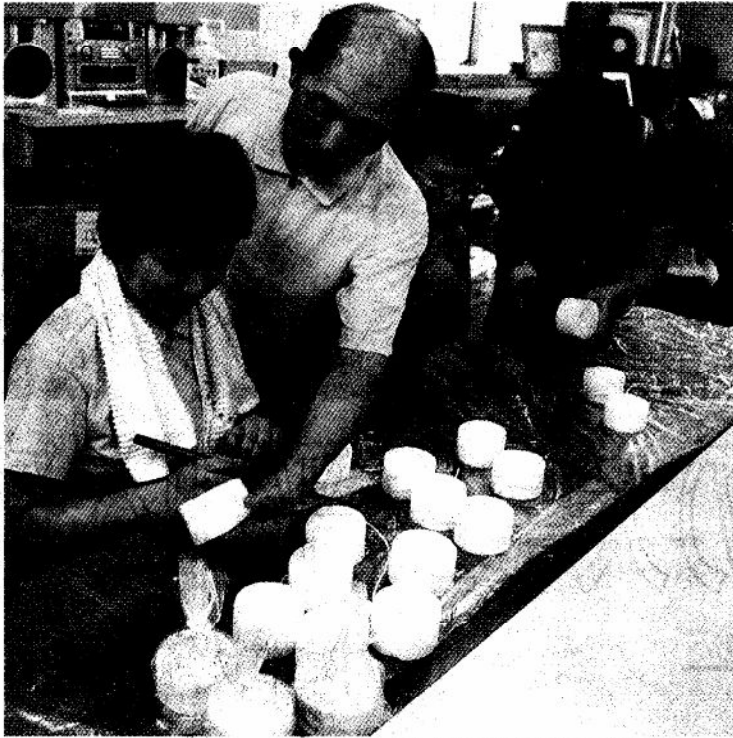


# FFキャンドル 防災に活用

## 安佐南の作業所 50本を再加工・販売



ろうそくキャンドルを防災用のろうそくに再加工する  
福島所長(手前から2人目)と通所者ら

ひろしまフラワーフェスティバル(FF)でもされたフラワーキャンドルを、広島市安佐南区八木七丁目のまなび共働作業所(福島義隆所長)が防災用に再加工してい

る。九月一日の防災の日にある「ふれ愛プラザ」に先駆けて既に五十本を販売中で、リサイクルの大切さも訴えている。直径八センチ、高さ五センチの白色。一本七十円。中区の紙屋町地下街シャレオ

業所がリサイクルろうそくのオブジェを会場に飾った。オブジェを見たFF実行委が、ろうそくの再生産が作業所の糧になつてゐることを知り、廃棄予定の約七百本を贈つた。

作業所は今後も生産を続け、公民館や養護学校のイベントでも販売していく。福島所長(71)は「ろうそく販売を通じ、多くの人に作業所の活動を知ってもらいたい」と期待している。(江川裕介)